

2010年 県内経済展望

新春インタビュー

8

3年前、日本では数少ない化粧品の安全性や有用性を実証するクリニカル(モニター)試験の受託業務を行う会社を起(こ)して注目された。最近の状況は。

野澤 化粧品に関して、日本は世界有数の市場。最近は、特にアトピーやニキビなどに対応した商品開発が求められており、仕事は順調に伸びている。3年間で秋田市の主婦を中心に約2500人の女性にモニターとして登録してもらった。しかし依頼に態勢が追いつかない状況。秋田のほかに、拠点を増やすことも考えている。

野澤 化粧品に関して、日本は世界有数の市場。最近は、特にアトピーやニキビなどに対応した商品開発が求められており、仕事は順調に伸びている。3年間で秋田市の主婦を中心に約2500人の女性にモニターとして登録してもらった。しかし依頼に態勢が追いつかない状況。秋田のほかに、拠点を増やすことも考えている。

「秋田美男」も前面に

田美人のイメージは全国に定着している。美人という概念がビジネスで役立つのか。野澤 イメージはビジネスにとって極めて重要。他県にはない秋田の強みだ。もっと言うならば、「秋田美男」も注目され得る素材だと思ふ。

野澤 イメージはビジネスにとって極めて重要。他県にはない秋田の強みだ。もっと言うならば、「秋田美男」も注目され得る素材だと思ふ。

野澤 イメージはビジネスにとって極めて重要。他県にはない秋田の強みだ。もっと言うならば、「秋田美男」も注目され得る素材だと思ふ。

インターフェイス社長 野澤 一美さん



のさわ・かずみ 米テキサス州立大電子工学科卒。93年、臨床試験を手掛ける米国企業に入社。03年、コンサルタントとして独立。06年、秋田市にインターフェイス設立。45歳。埼玉県出身。

体格が全国一ということは背が高く、スタイルがいいというところ。美人と美男を前面に出すことで、モデルクラブや化粧品のファッションブランドの発信など多彩なビジネス展開の可能性がある。平均を下回っている。起業を促すために必要なことは、野澤 自分が起業したときには、「(秋田に)しがらみがないからできる」と言われた。秋田は地縁血縁の結び付きが強く、付き合いを優先する印象がある。だがビジネスにとって、しがらみは障害になることも多い。また知り合いばかりという環境では、失るが、同じ場所にいたままでいる姿を見られたい。失くさず、不安も強く、なかなか起る業に踏み切れない面もあるのではないか。しかし周囲がサポートする。野澤 どんな時代だろうと、求められるものは必ずある。同じ場所にいたままでいる姿を見られたい。失くさず、不安も強く、なかなか起る業に踏み切れない面もあるのではないか。しかし周囲がサポートする。

野澤 どんな時代だろうと、求められるものは必ずある。同じ場所にいたままでいる姿を見られたい。失くさず、不安も強く、なかなか起る業に踏み切れない面もあるのではないか。しかし周囲がサポートする。

(聞き手・藤原佐知子)

△完△